

健康起因の事故防止へ

全ト協&石ト協

社員サポート手法知る

は健康や体調に関わる事故が目立ってきた。他産業に比べて脳・心臓疾患が多く、その背景には過労も推察される。労働時間の削減は非常に大事だが、併せて健康管理にも目を配っていただきたい」と指摘。

その上で、定期健診に触れ、「受診はできていると思う。しかし、その後の対応は、特に中小事業者では難しいのではないか。社員に対して的確なアドバイスができるよう、しっかり学んでいただきたい」と要望した。

ヘルスケアネットワーク(OCHIS)の保健師、黒田悦子氏が運輸ヘルスケアナビシステムを活用した社員サポートの手法を説明。全社的に健康意識の醸成が図られた取り組みなど、企業の具体例も取り上げた。

この後、OCHISの作本員子副理事長がSASスクリーニング検査、治療法を紹介した。(河野元)

【石川】全日本トラック協会と石川県トラック協会(久安常信会長)は6月25日、健康に起因する事故の防止に向け、セミナーを開いた。定期健康診断のフォローアップ、睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策の2部構成で実施した。全ト協の大西政弘交通・環境部付部長が「事業用トラックのドライバーが第1当事者となる交通事故は減少傾向にある。一方、近年